

請 願 番 号	請 願 第 2 号	件 名	小中学校の完全給食無償化の実現を求める請願
受理年月日	令和8年 5月20日	請願代表者 住所・氏名	各務原市新鵜沼台5-140 各務原市の学校等給食費無償化を実現する会 代表 三戸 三知子
付託委員会	経済教育 常任委員会	紹介議員	古川明美、小川麻実、城戸隆志、波多野優子

(請願趣旨)

2026年度より国の施策として「学校給食費の抜本的な負担軽減」が始まり、公立小学校の給食費について、全国一律に5,200円が支援されるようになりました。

これは、日本国憲法の「義務教育は、これを無償とする(第26条)」の理念に大きく近づくものであり、多くの国民の願いに応えるものです。

しかし、各務原市においては食材費300円が保護者負担となりました。県下では、保護者負担ゼロの自治体が、小学校では85%・36自治体にも上ります。中学校では、16自治体が保護者負担ゼロの完全無償化を実現しています。

昨今の経済事情により子育て家庭の生活苦が増す中、学校給食の完全無償化は、すべての子どもが安心して教育を受ける権利を保障するものであると考えます。よって、さらなる負担軽減を進め、一刻も早く小中学校の完全給食無償化を実現することが各自治体に求められています。

各務原市においても、小中学校共に、保護者負担ゼロの完全給食無償化の実現を求めます。

(請願項目)

1. 小学校の給食費について、国と県による支援で不足する分を市が負担することにより、小学校の給食無償化を完全に実施すること。
2. 給食の質を落とすことがないようにすること。
3. 中学校の給食費について、完全給食無償化を早期に実現すること。

請願番号	請願第3号	件名	ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願
受理年月日	令和8年 5月22日	請願代表者 住所・氏名	各務原市那加信長町2-74 各務原民主商工会 会長 野村 和義
付託委員会	経済教育 常任委員会	紹介議員	城戸隆志、波多野優子

(請願趣旨)

いま現在、私たち中小企業・小規模事業者は、個々の経営努力だけでは困難を打開できない事態に直面しています。

アメリカとイスラエルによるイラン攻撃を発端にしたホルムズ海峡封鎖により、原油やナフサなどの供給不安が急速に拡大し、それに伴う電気・ガス料金や原材料・資材価格の高騰、さらには供給そのものの途絶が広がっています。日本はエネルギーや石油化学製品の多くを中東に依存しており、今回の封鎖による影響は、深刻かつ長期化が懸念されています。現場からは、「塗装用シンナーが80%値上がりした」「値上がりにとどまらず、必要な原料・資材が手に入らない」「売り上げが半減」など中小業者の悲痛な声が寄せられています。多くの中小業者が倒産・廃業に追い込まれたかつてのオイルショックやコロナ禍とは異質で、今までにないさらに深刻な状態になっています。多くの中小企業・小規模事業者は不安を募らせながら、資金繰りや雇用を維持する方策を必死で模索しています。

以上、中小企業・小規模事業者の存続と地域経済の崩壊を防ぐため、緊急かつ包括的な支援策を強く要請します。

(請願項目)

1. 電気・ガス代、資材の高騰に対し、負担を軽減する助成制度など、緊急かつ実効性のある直接支援策を実施すること。
2. 地方税や国民健康保険料の納付を猶予・免除する特例制度を実施すること。
3. コロナ禍に実施された「持続化給付金」「家賃支援給付金」のような支援策の実現や自治体が行う支援策への財政措置を行うよう、政府に要請してください。

請 願 番 号	請 願 第 4 号	件 名	小・中学校等にPFAS対策用浄水器再設置を求める請願
受理年月日	令 和 8 年 5 月 2 5 日	請願代表者 住所・氏名	各務原市蘇原月丘町3-26-11 PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会 世話人代表 今尾 明美
付託委員会	経 済 教 育 常 任 委 員 会	紹 介 議 員	城戸隆志、波多野優子、古川明美、小川麻実

(請願趣旨)

PFAS（有機フッ素化合物）は、腎臓がん、精巣がん等のがんをはじめ、動脈硬化にもつながる血液中の高コレステロール、甲状腺疾患、潰瘍性大腸炎、妊娠高血圧症、妊婦の子どもの染色体異常との関連性が高いことが科学的に明らかにされています。故にPFASの規制を多くの国が年々厳しくしています。米国は1L当たり4ng、デンマークは2ng、スウェーデンは4ngと事実上ゼロを目指しています。各務原市は欧米並みの基準になるよう対策が行われます。でも、三井水源地の水道水を利用する子どもたちのPFAS血中濃度は既に健康リスクが高まる基準値1mL当たり20ng（米国アカデミーの基準値）をはるかに超え、身体から抜けにくいPFASがそのまま滞留しています。

市の中期的運用が始まるまでの間、子どもたちの健康リスクを下げるために1日も早く小・中学校等にPFAS対策用浄水器の再設置を求めます。

(請願項目)

1. 小・中学校等にPFAS対策用浄水器の再設置を求めます。